

実務者向け

対策推進 のための 手引き

アメリカザリガニ対策のすすめ



東京都環境局



ほとんどアメリカザリガニ？！

日本にいる主なザリガニは3種類ですが、日本で一番分布を広げているのは外来種のアメリカザリガニです。あちこちで姿を見るようになったのは、彼らの驚くべきタフさと繁殖力に秘密があります。

なぜこれほど増えたのか、その生態を知ることは、日本の豊かな水辺を守るための大きなヒントになります。この冊子では、彼らの意外な素顔をひも解きながら、今日から私たちにできる具体的な対策や防除の方法を詳しくご紹介します。

貴重な在来ザリガニ

ニホンザリガニ



一番多いザリガニ！

アメリカザリガニ

日本で最もよく見られるザリガニといえば、このアメリカザリガニです。

タフさと
繁殖力がすごい！

ウチダだけど外来ザリガニ

ウチダザリガニ



* 令和6年度以降、沖縄県、愛媛県でミステリークレイフィッシュ（外来種）も確認されています。



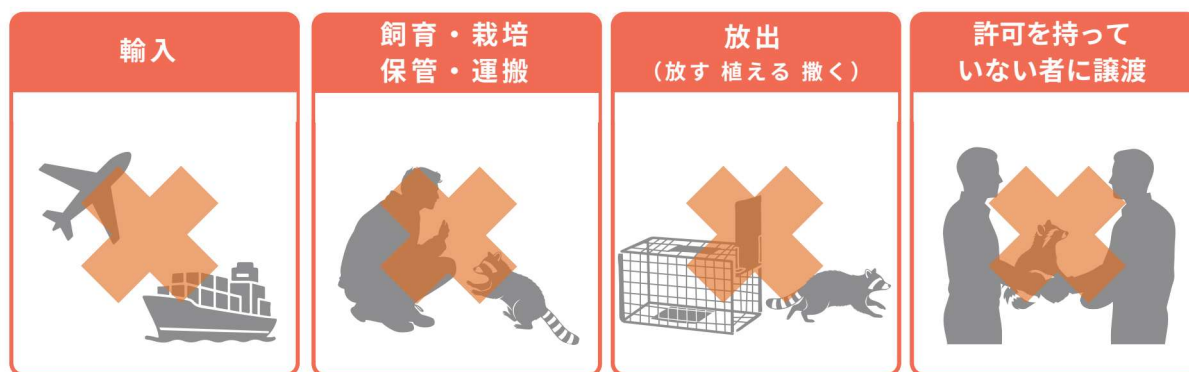
知っておきたい法律のこと

私たちの身近な存在だったアメリカザリガニですが、実は2023年に新たなルールが定められました。「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」によって定められたことを正しく理解することは、今いる生きものたちを大切に、豊かな自然を次世代へつなぐ第一歩です。この章では、私たちが守るべきポイントと、アメリカザリガニとの「正しい付き合い方」をわかりやすく解説します。

特定外来生物とは



自然、人、農林水産業に被害を与える、またはその可能性があるとして、外来生物法に基づき選ばれた外来生物のことです。飼育、栽培、保管、運搬、輸入、放出（放す 植える 撒く）、許可を持っていない者に譲渡することなどが法律で禁止されています。



条件付特定外来生物とは



『外来生物法』で定められた『特定外来生物』の内、通常の特特定外来生物の規制の一部を当分の間、適用外とする（規制の一部がかからない）生きもののことです。令和7年度現在、アメリカザリガニとアカミミガメの2種が選定されています。





アメリカザリガニが及ぼす被害

自然環境への被害

① 在来種の減少

アメリカザリガニは雑食性が高く、いろいろなものを食べます。それにより、在来の生きものが減少し、場合によっては消失することもあります。

※ここで紹介しているのは、一部の例です。



捕食対象の在来種例：写真は左からフラスコモの仲間、ミズハコベ、オオシオカラトンボ（幼虫）、クロダハゼ、ニホンアカガエル（幼生）※両生類は幼生が捕食されることが多い

② 生態系全体への影響

アメリカザリガニは、水草を食べるだけでなくハサミで切り刻んで減らしてしまいます。水草は多くの生きものにとって隠れ家や産卵場所となるため、これらが失われると地域の生態系は深刻なダメージを受けます。その結果、生きものの種類や数が減り、水辺全体の生物多様性が低下します。さらに、水草による水質浄化の仕組みが損なわれることで、水質の悪化を招く要因にもなります。



アメリカザリガニが多い池は水草、生きものが少なくなる

私たちの食への被害

① 田んぼの破壊

アメリカザリガニが掘った穴が原因となり、水路や水田で漏水が発生することがあります。漏水によって水量のコントロールが困難になるほか、除草剤の効果が弱まり、稲以外の植物が繁茂することで、収穫量の減少につながることもあります。漏水の修復には、多大な労力や費用がかかります。



アメリカザリガニが掘った穴

② 生産物の食害

アメリカザリガニによって、養魚場で養殖されているドジョウの捕食被害が確認されています。また、ジュンサイやレンコンなどの水生植物が食べられるなど、養殖業や農業への影響も生じています。



アメリカザリガニの生態

生息環境と食性

アメリカザリガニは止水域・流水域を問わずさまざまな水域に生息し、高水温や低酸素の環境、水質が汚れた場所でも生きることができます。さらに、陸上を歩いて別の水域へ移動することもできます。

落ち葉から魚まで食べる雑食性ですが、野外では動物質（タンパク質）を得る機会が少ないため、動物質の餌を用いた罠に集まりやすい傾向があります。

アメリカザリガニの1年



繁殖の特徴

- 1回に200～1000個産卵
- 年に2回産卵する場合もあり
- ふ化後1～2年で繁殖が可能

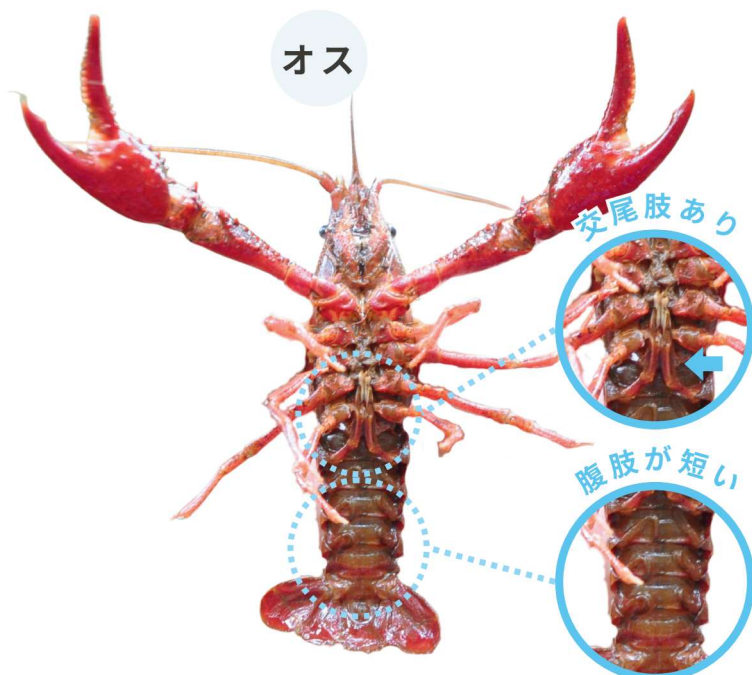


寿命

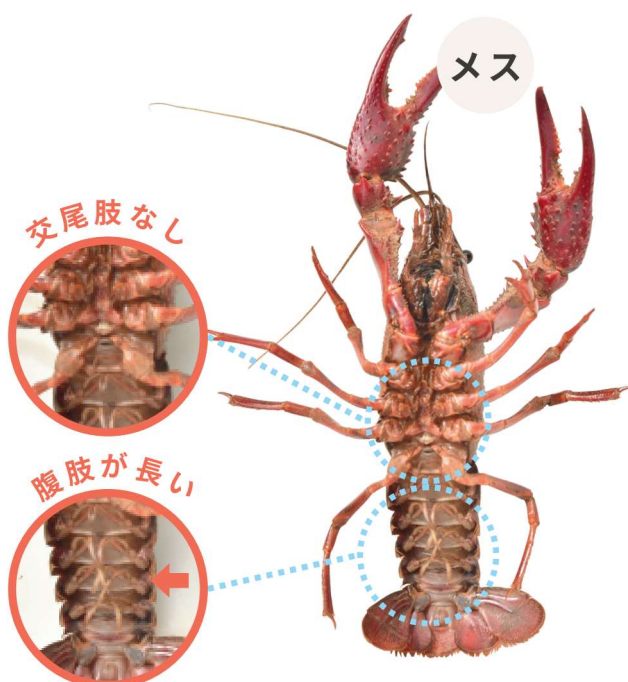
一般に4～5年ですが、12年生きた例もあります。

オスとメスの違い

オス



メス





ザリガニ識別ポイント

アメリカザリガニ

条件付特定外来生物

*詳細はP3参照

原産国：アメリカ南東部-メキシコ北東部

- 体長は10cmほど
- 若い個体は淡褐色-黄褐色が多く、成熟すると赤色-赤褐色になる傾向がある
- 他のザリガニと比べると、両目の間の突起がすどくとがる



ウチダザリガニ

特定外来生物

*詳細はP3参照

原産国：カナダ南西部-アメリカ北西部

- 体長は15cmほど
- ハサミの付け根が白い
- 日本国内では北海道、東京都、千葉県、福島県などで確認されている



ニホンザリガニ

在来種 / 環境省 レッドリスト 絶滅危惧II類

原産国：日本（北海道、東北北部）

- 体長は5cmほどと小さい
- 両目の間の突起はアメリカザリガニと比べると、にぶくとがる
- 北海道と東北地方の一部にのみ生息



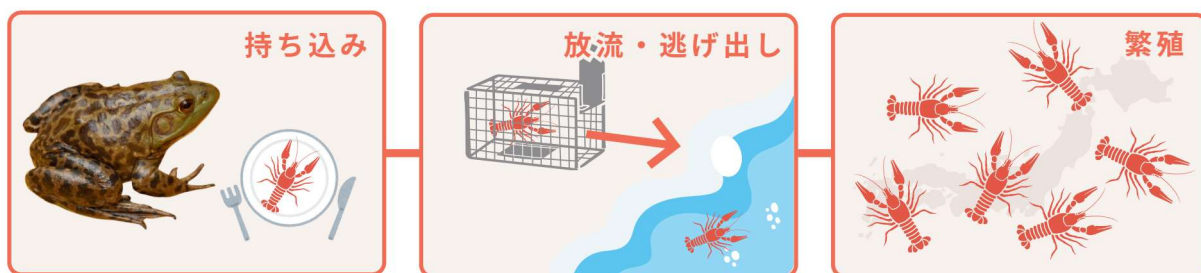
写真出典：相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら



どうしてこうなった？

なぜ日本の水辺に生息しているのか？

1927年に食用のウシガエルを養殖するための餌としてアメリカ大陸から日本へ持ち込まれましたが、その後、人の手による放流や飼育個体の逃げ出しが多発しました。水質汚濁や乾燥にも耐える生命力の高さ、何でも食べる雑食性や高い繁殖力により、今では日本各地の水辺で広く繁殖するようになりました。



外来種 / 外来生物とは

- 生きもの自身の移動能力を超え、**人が移動させた生きもののこと**
- 自力で、または嵐などに乗って移動してきた生きものは外来種とは呼ばない
- 国外からの人為的な移動に限らず、日本国内でも人が移動させた生きものは外来種（国内外来種）となる

たとえば、国内の別の地域からホタルを運んで放し「ホタルの舞う水辺」を作ることでも、「国内外来種」の問題にあたります。一見、自然を豊かにする活動に思えますが、その土地に本来いなかった生きものを人の手で入れることは、その土地本来の生態系のバランスを崩す原因となります。



アメリカザリガニも自らの意思で日本に来たわけではなく、悪気があって自然を乱しているわけではありません。しかし、長い年月をかけて築かれた地域固有の生態系に深刻な影響を与えるため、防除は重要な取組です。



アメリカザリガニの防除方法！

① 侵入経路をブロック！

水路などの出入り口には、網や定置網を設置してザリガニの流入・流出を防ぎましょう。陸上移動もするため完全な遮断は困難ですが、設置により一定の効果が得られます。網にはゴミが溜まりやすいため、定期的な点検と清掃が防除の成果を高める鍵となります。



流出防止のために設置した網

② 罠で捕獲

アメリカザリガニの成長段階（幼体か、成体か）によって効果的な罠が異なります。対象に合った罠を活用しましょう。

しば漬けを使った捕獲

杉の葉や笹、木の枝などを束ねて水中に沈め、その隙間に入るアメリカザリガニを捕獲します。この罠を、「しば漬け」といいます。餌が不要で労力が少ないことと、幼体の捕獲に適していることが特徴です。



笹で作ったしば漬け

実施方法

杉の葉や枝などを束ねたものを水中に沈め、流されないように岸边に固定します（市販されているものもあります）。設置後、一定期間経過したのちに引き上げ、中に潜んでいるアメリカザリガニを桶などにふるい落とし回収します。しば漬けにはスジエビの仲間など在来のエビもよく入ります。在来のエビが生息する場所では、アメリカザリガニとの選別作業も必要となります。

実施場所

- 水の流れが緩やかな場所
- 水深が概ね20cm以上ある場所
- 水草や岩など、アメリカザリガニが隠れやすい場所



設置の様子（笹を用いたしば漬け）



回収時の様子
（竹ぼうきを用いたしば漬け）

カゴ罠を使った捕獲

アメリカザリガニを捕獲する最も一般的な捕獲方法です。成体の捕獲によく用いられます。

実施場所

流れが弱く、水草や岩などアメリカザリガニが隠れやすい場所の近く

設置方法

- 餌入りの容器を罠の中に入れる
- カメなど肺で呼吸する生きものが入った場合に溺死しないよう、罠の上部が水面から出るように沈める
- 罠が流されないよう岸辺の杭などにロープで固定する



設置の様子（もんどり）

餌と容器について

- 餌は油分の少ない老犬用ドッグフードやコイの餌などがおすすめ
- 餌の容器は、短期間設置する場合は不織布の袋（お茶や出汁パック）、数日間設置する場合はフタ付きタッパーに穴を開けたものが便利



餌



蓋に穴が開いた餌容器

回収の目安

- もんどりは入ったアメリカザリガニが再び外へ出てしまうことがあるため、長期間放置せず、半日程度で回収するとよい（例：夕方に設置し、翌朝に回収）
- アナゴカゴはアメリカザリガニが出にくい構造をしているため、1週間程度設置しておいても問題ない
- 回収後、餌を取り換えて再設置する

便利
アイテム

自動給餌機無し連続捕獲装置（NPO法人シナイモツゴ郷の会が開発）



この装置は、餌の補充不要で逃げにくい構造が特徴です。回収の負担を抑えつつ、効率的に捕獲が続けられます。



⚠️ 正しく防除を行うためのルールと確認

防除作業を始める前に、現場の管理者へ必ず確認を行いましょう。また、水辺での採捕には「特別採捕許可」が必要となる場合があります。東京都では、外来種駆除を目的とした作業は許可申請の対象外とされるケースもありますが、地域や状況によって取扱いが異なります。特に、「もんどり」や「かご」などの漁具を使用する際は、場所によって使用自体が制限されていることもあるため、事前に自治体の担当部署へ確認することが大切です。

③ 網を使って直接捕獲！

タモ網やサデ網を使った捕獲は、水深が浅く、カゴ罠を設置できない場所などで有効な方法です。また、カゴ罠だと捕獲しにくい幼体の捕獲にも適しています。

実施方法

網を水底にしっかりと固定し、網は動かさずに足で追い込むように捕獲します。

実施場所

- 水深が浅く、罠の設置が難しい場所
- 水草や岩など、アメリカザリガニが隠れやすい場所
- 流れのある場所では、下流側から上流側に向かって移動しながら捕獲すると、水の濁りを防ぐことができるため効果的



捕獲したアメリカザリガニの処理

一般的には熱湯や冷凍などで殺処理し、自治体のルールに従い廃棄（燃やすごみ等）します。また、堆肥化して有効活用することも可能です。



ザリガニたい肥で有効活用

④ すみかを減らす！

増やさないための施工時の配慮

池や湿地、水路などの水辺を改修・新設するには、材料や工法の選択に注意が必要です。蛇籠は施工性に優れた便利な資材ですが、内部の石の隙間がアメリカザリガニの生息に適した環境（隠れ家）をつくってしまう場合があります。さらに、一度入り込んだ個体は捕獲が難しく、防除が困難になります。そのため、アメリカザリガニが生息する場所では、蛇籠に頼らない工法を検討することが重要です。例えばヤシロールマットを用いることで、隠れ場所となる隙間を作らずに施工することができます。



ヤシロールマットを用いた施工



蛇籠を用いた施工



作業の服装と安全管理

防除作業を始める前には、適切な服装や安全上の注意事項を必ず確認しましょう。

服装と道具

頭・首周りの手ぬぐい

頭や首元に巻くことで、強い日差しによる日焼けや熱中症を防ぐだけでなく、作業中の泥汚れや汗が目に入るのも防いでくれます。

タライ

捕獲した生きものを入れる容器は、浮力を利用して泥の上を滑らせるソリとしても活用できます。

網

捕獲用の網は、泥の重みで壊れないよう枠の丈夫なものを選びましょう。

ゴム手袋

傷や汚れから手を守るため、二の腕までカバーできる長い手袋がおすすめです。

胴長（ウェーダー）

深い水場や泥、ガラスなどの危険物から身を守るため、裸足は避け、腰や胸まである長靴を着用して入るようにしましょう。



水深が膝丈よりも高い場合は、必ずライフジャケットを着用しましょう！

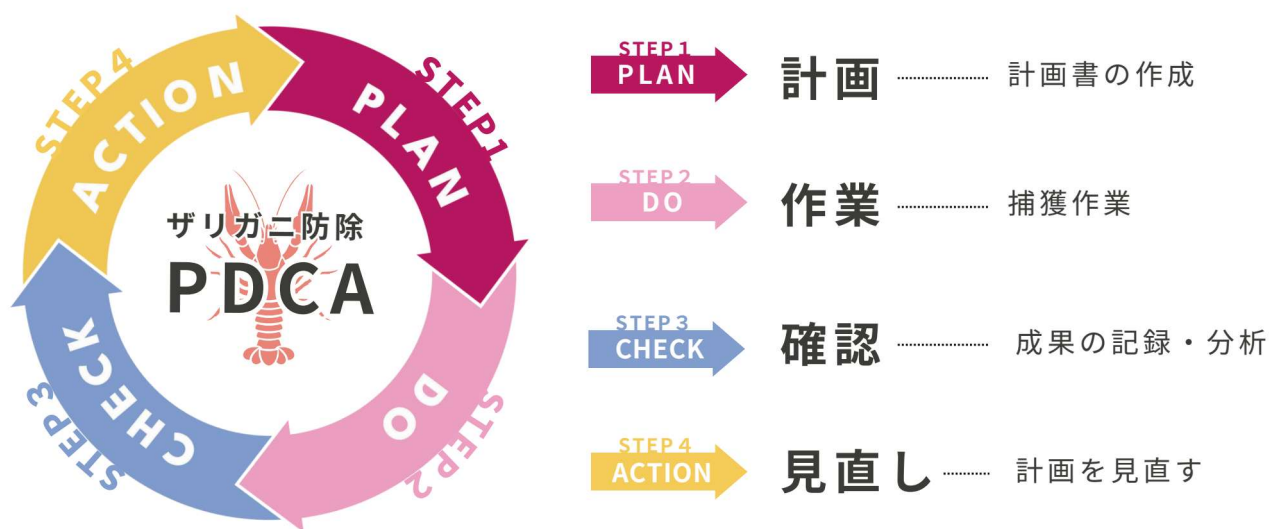
重要な安全確認のチェックポイント

- ☒ **足元注意** 水が濁って底が見えない場所では、タモ網などの棒状のもので足元を確認しながら慎重に歩きましょう。
- ☒ **熱中症対策** ライフジャケットや胴長を着用する際は特に熱中症のリスクが高まるため、こまめな水分・塩分補給と十分な休憩を心がけましょう。
- ☒ **緊急時の対応** 予測できる危険を洗い出し、もしもの時の連絡体制や対応ルールを決めておきましょう。



防除は計画的に！

防除成功の秘訣は、やみくもな捕獲ではなく「確かな計画」にあります。先行団体の知見や講習会の情報を活かして実効性の高い計画書を作成し、関係者の合意を得ることで、関係者同士の足並みを揃え効果的に防除を推進することができます。そして「①計画」「②作業」「③確認」「④見直し」のPDCAサイクルを回し続けることが、効率的で持続可能な防除への一番の近道です。



防除計画書に書いておきたいチェックリスト

- ☒ **目的/目標** なぜアメリカザリガニを防除するのか？
例：在来種の動植物を保全することを目的とする
- ☒ **場所** どのエリア（範囲）のアメリカザリガニを防除する？
例：あおぞら公園の東池と、流入出水路
- ☒ **期間** 何年計画？ 年間スケジュールは？
例：○年度●月～●月までの間（罟の確認は月3回程度実施）
- ☒ **処理** 捕獲したアメリカザリガニはどうする？
例：冷凍による殺処理ののち、堆肥化し公園内の花壇などで活用する
- ☒ **方法** 何を使って、どのように防除する？
例：池では罟による捕獲を行い、水路には流入出防止ネットを設置する
- ☒ **手続き** 防除に必要な許可申請は？
例：あおぞら公園管理者に連絡、調整を行う
- ☒ **効果検証** 成果確認の方法は？
例：毎回捕獲数などを記録し、経年変化を調べる

成果の確認方法

捕獲個体の情報を都度記録し、分析することで、防除の成果を確認することができます。この情報は、状況に応じて計画の見直しを行うための判断材料にもなります。

記録方法

捕獲した生物の情報を記録します。

種名	サイズ	採取場所	採取方法	採捕後の対応
アメリカザリガニ	大	デッキ下	もんどり	駆除
アメリカザリガニ	大	デッキ下	もんどり	駆除
アメリカザリガニ	中	西側岩場	もんどり	駆除
アメリカザリガニ	小	西側岩場	しば漬け	駆除
アメリカザリガニ	中	東側水草	タモ網	駆除
ウシガエル	13cm	デッキ下	もんどり	駆除
スジエビの仲間	4cm	西側岩場	しば漬け	放流
モツゴ	4cm	東側水草	タモ網	放流

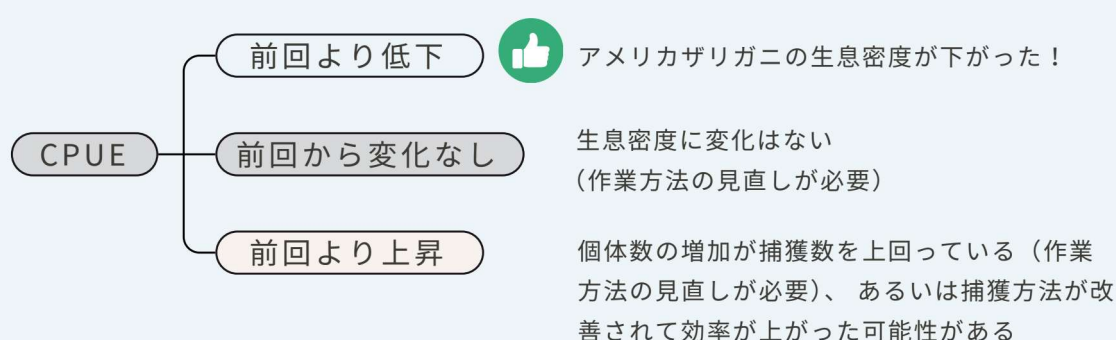
【例：〇月〇日の点検記録】

分析方法

防除の成果を確認するには、「どれだけ捕れたか」だけでなく、どれくらいの手間や時間をかけて捕れたのかをあわせて見るのが重要です。そこで用いられる指標が「単位努力量当たりの捕獲数」(CPUE)です。CPUEとは、「一定の作業量あたり、何匹の対象生物が捕れたか」を示す数値です。

カゴ罠の場合の計算方法

$$\text{CPUE} = \text{捕獲個体数} \div (\text{設置した罠の数} \times \text{設置日数})$$



CPUEの傾向を参考に、これまで通りの取組を続けるか、見直すかなどの判断をします。CPUEが低下することは防除の成果といえますが、CPUEがゼロ（捕れなくなる）になるまで継続しないと、再び増殖するおそれがあります。そのため、継続的に調査と記録を行い、状況に応じて捕獲方法や重点箇所を見直しながら防除を続けることが大切です。

出典：環境省「アメリカザリガニ対策の手引き」（2022年4月）を加工して作成



みんなに知ってもらおう！

アメリカザリガニが新たに放流されることを防ぎ、防除活動への理解を深めてもらうためには、普及啓発の取組が欠かせません。ここでは、アメリカザリガニに関する普及啓発の取組事例を紹介します。現場でどのような情報発信ができるかを考え、実践してみましょう。

掲示する

防除を行っている水辺に、アメリカザリガニの放流禁止を伝える掲示物を設置します。目を引くイラストや写真と、要点を簡潔にまとめた短い文章を組み合わせることで、内容が一目で伝わります。また、より詳しく知りたい人に向けて、なぜ放流してはいけないのかを説明する文章を加えることも有効です。



掲示物のイメージ

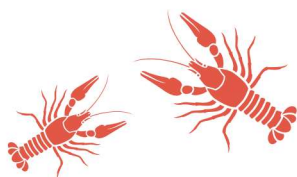
普及啓発イベントを開催する

以下の4つのポイントを解説するだけでも、有意義な普及啓発となります。

4つのポイント

- ① なぜ防除が必要なのか
- ② どのような取組を行っているのか
- ③ どのような成果や変化が見られているのか
- ④ 「放流してはいけない」ということ

未就学児や小学生（4年生くらいまで）の子どもには、駆除や殺処分などの表現は必要以上に不安を与えてしまうおそれがあるため、配慮しましょう。



普及啓発イベントのイメージ



普及啓発イベントのイメージ

ラストカルテ

法獣医学者 当麻健匠の記憶

Last Karte

も

東京の自然環境を守るため…

ラストカルテとは？

法獣医学を知り、

獣医師になる決意をした少年、
当麻健匠と次戸爽介。彼らが野生や飼育された動物たちを
通じて動物の命と魂を紡いで、
学び成長してゆく法獣医学ミステリー。

ラストカルテ

法獣医学者 当麻健匠の記憶

浅山わかび

小学館 少年サンデーコミックス
©浅山わかび / 小学館
週刊少年サンデー連載中試し読みは
コチラ！令和5年6月1日
アカミガメ、アメリカザリガニ
規制開始アカミガメ、アメリカザリガニは「条件付特定外来生物」に指定され、野外に放した人は、
3年以下の懲役または300万円以下の罰金等に処せられる場合があります。

ペットとしての飼育は、手続き不要です。責任をもって最期まで大切に飼い続けましょう。

↑条件付特定外来
生物について詳しくは

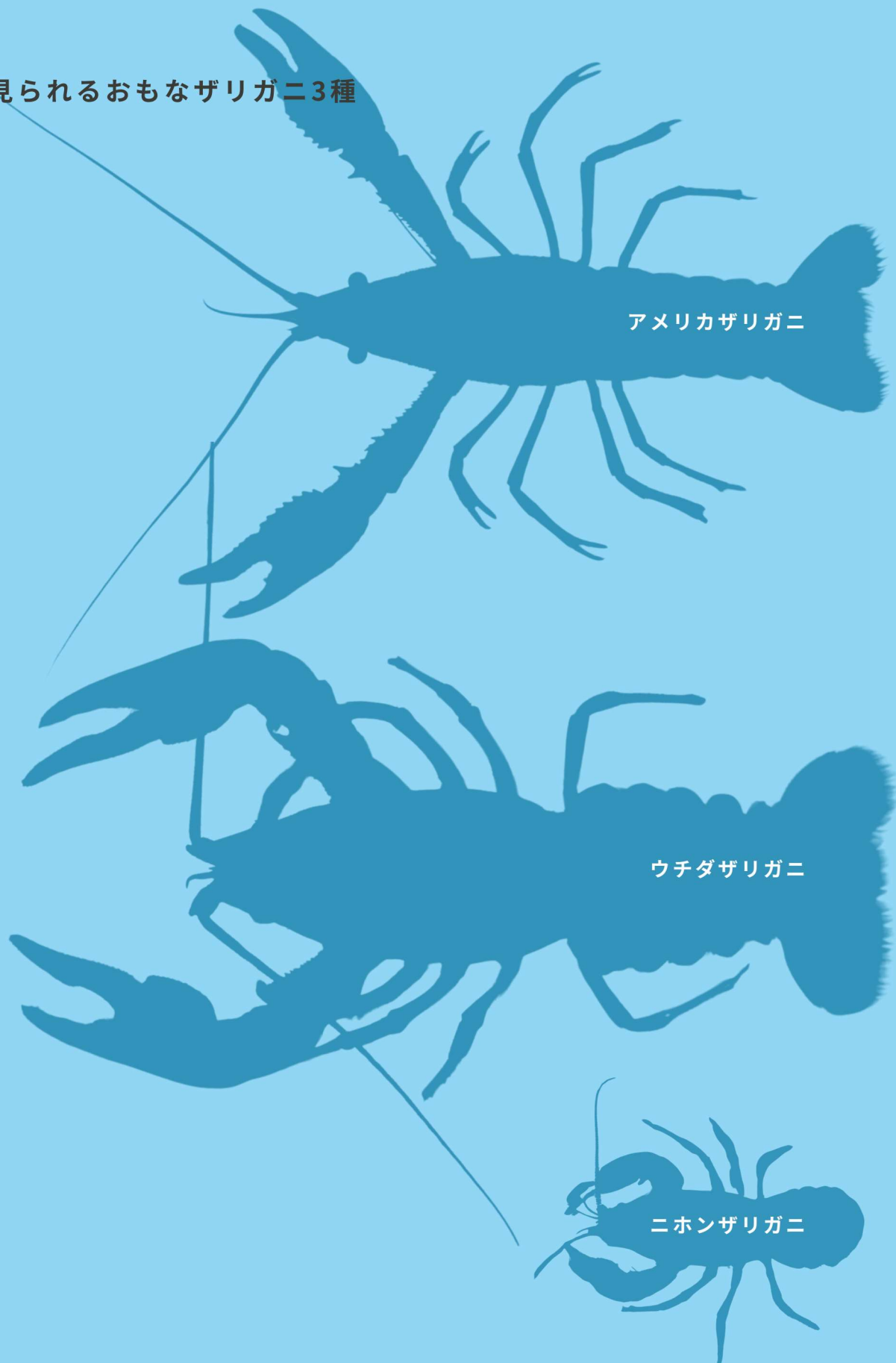
警視庁

東京都

環境省

小学館

日本で見られるおもなザリガニ3種



※シルエットは原寸大です

実務者向け 対策推進のための手引き アメリカザリガニ対策のすすめ

発行 : 東京都環境局自然環境部計画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8-1 Tel:03-5388-3506
企画製作: 特定非営利活動法人 NPO birth

令和8年3月作成